

《入選》

七色に光る虹のように

城西小学校 6年

植田 葵衣 さん
うえだ あおい

「人権」

これは、私たちが生まれた瞬間からもっている、人間らしく生きるための権利。私はこのことを六年生の社会科で学習しました。

そこで、私はその「人権」を尊重しているのか改めて考えてみました。人間が人間らしく、毎日を楽しく過ごしているか。でも、たくさんの方がそうではないと思います。

理由の一つ目は、「人種差別」です。黒人、白人。これだけでたくさんの方が差別されています。私は、「白人が黒人に鉄砲をうち、死亡させた。」このニュースを見まし

た。このニュースを聞いたとき、「人権」を思い出しました。これは人権を尊重しているのかな、と。「黒人」、「白人」ではなく、一人の「仲間」として、差別をなくしてほしいです。

理由の二つ目は、「男女差別」です。「男なら保育士はなし」とか、「女は家事」とか、「男だから、女だから」と決めつけがあります。それは、昔と同じ考え方です。私は、その考えに反対します。誰でも自由に生きてほしいです。でも今は、LGBTQなどの考えが出ています。現在は、その意見はあまり親しまれていませんが、「男女の平等」、そして「個人の尊重」というこの二つを色んな人に知ってほしいです。

理由の三つ目は、「障害者差別」です。私は道徳で考えたことがあります。友達とキヤッチボールをする時、その

友達は車いすに座っているため、男の子はボールをゆるく投げているというものです。これはなげている男の子にとっては良いことだと思っているのかもしれませんが、でも、その友達は本気でボールをなげたいのではないかと考えられます。また、「障害者だから」席をゆずろうとか、「障害者だから」優しくしようとする人もいます。これはたくさんの方がよるこぶでしょう。でも、一部の人は「別にいいのに」と思っているのかもしれない。私はこれから、たくさんの人にその意識を高めてほしいです。

理由の四つ目は「いじめ」。これは、学校にも関係していません。誰かがいじめられていても、私は見過ごしてしまいかもしれません。でも、何か悩みをもっている友達がいたら、真剣に話を聞きたいです。そして、一緒に解決策を

探りたいです。

この四つの理由の上で、改めて「人権」について考えてみました。「全てを解決して、誰もが人間らしく生きる世の中」というのは遠い話かもしれませんが。でも、今の私たちの世代から、差別をなくしていき、明るい未来が訪れることを願っています。

そして、明るい未来だけではなく、まるで「虹」のように一人一人が自分の色、個性を尊重し、輝きを放ってほしいと思います。私たちが私たちにちらしく、人間が人間らしく生きていくために。